MITSUBISHI ELECTRIC

三菱IHクッキングヒーター据付説明書

ビルトインタイプ（単相200V）【家庭用】

形名

200V・30A機種

CS-G30M
CS-G30MS
CS-KG30M
CS-KG30MS
CS-KG30MB
CS-KG30MSR
（レンジフード連動機能あり）

200V・20A機種

CS-G21MS20A

据付される方へのお願い

■据付の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
■設置場所が常に水平で安定していることを必ず確認してください。
■据付完了後に試運転を行い、お客さまへ正しい使い方をご説明ください。
■この説明書では、イラストを簡略化しておりますので製品と一部異なります。
■この説明書は必ずお客さまにお渡しください。
■ガス事業者への連絡をせずにガス工作物（ガス配管、ガスメーター、ガス栓等）を無断に撤去することは法令により規制されておりますので、事前にガス事業者への連絡が必要となります。
※据付説明書中のイラストは、一部簡略化しています。
※据付説明書中のイラストは、一部実物と異なる場合があります。

1 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

禁　止	接触禁止	アース線接続
分解禁止	指示に従う	

⚠警告

絶対に分解・改造は行わない
分解禁止
発火・異常動作してけがをするおそれがあります。
※トッププレートを取り外さないでください。
※電源コードの直付けはしないでください。

トッププレートに衝撃を加えない
万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因
※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしない。

200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する
（CS-G30M、G30MS、KG30M、KG30MS、KG30MB、KG30MSR）
200V・20A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する
（CS-G21MS20A）
この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれがあります。

据付は、この「据付説明書」に従って、確実に行う
据付に不備があると、漏電・火災の原因

電気配線工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士が施工し、必ず専用回線を使用する
接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因

アース接地工事は、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って電気工事士がD種接地工事を行う
アース線接続
漏電時に感電のおそれがあります。

⚠注意

試運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れない
接触禁止
やけどのおそれがあります。

ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う
熱硬化性樹脂化粧版（JIS K 6903）またはこれと同等以上のもの。
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。
※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

据付前にグリル受け皿とグリルあみをグリル庫内から必ず取り外す
据付時、グリル受け皿とグリルあみの落下によりけがの原因

2 設置場所の確認

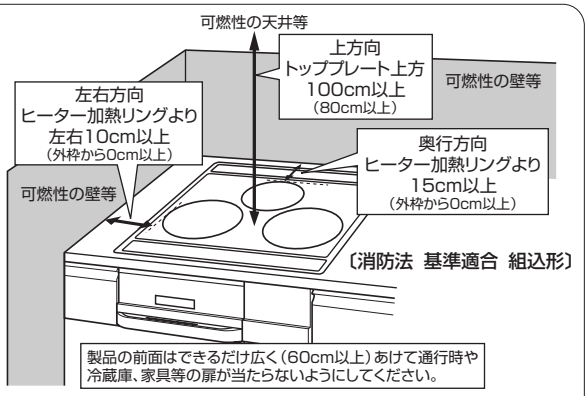
火災予防条例、電気設備技術基準に従って設置してください。

壁・天井等からの距離

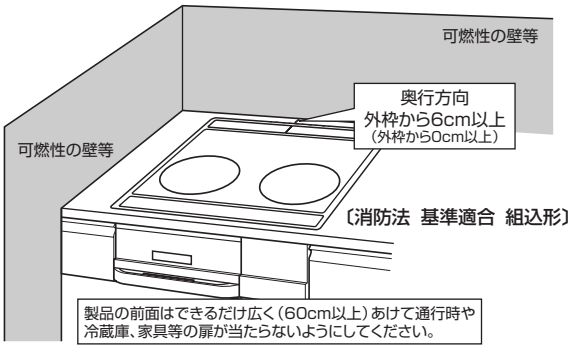
■周囲が可燃性の壁の場合（防火構造壁以外）

※（　）内は不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合。
※防熱板を設けたとき、機器周辺の可燃性の壁温度が100℃を超えない断熱性を有すること（室温:35℃）

〈CS-G30M、G30MS、KG30M、KG30MS、KG30MB、KG30MSRの場合〉

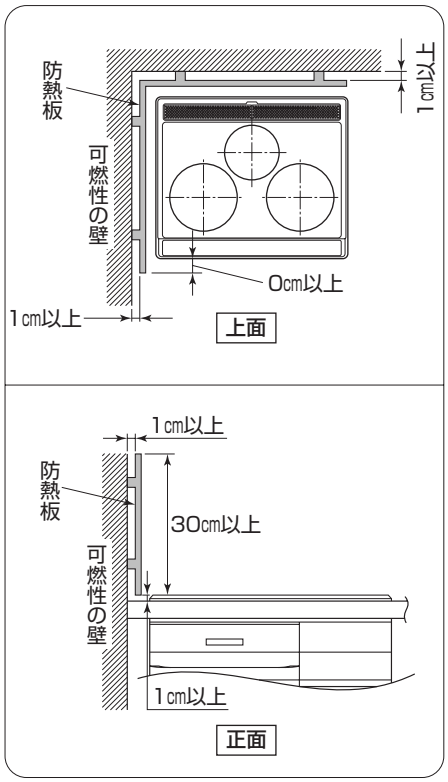


〈CS-G21MS20Aの場合〉
※上方向、左右方向は他形名と同一距離。



■可燃性の壁から、上記の距離を離して設置できない場合

●防熱板を取り付ける



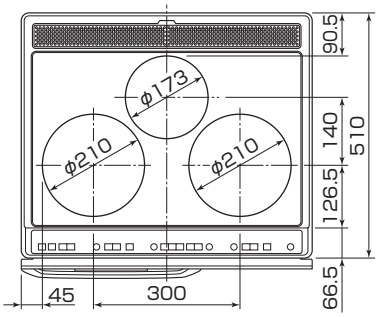
お願い

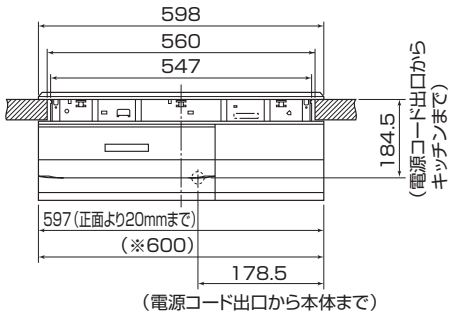
製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準で危害なきよう設置することが定められています。）

3 製品外形寸法図

単位：mm

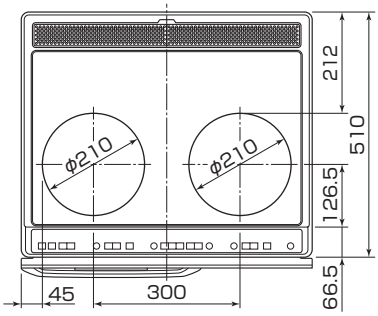
〈CS-G30M、G30MS、KG30M、KG30MS、KG30MB、KG30MSR〉



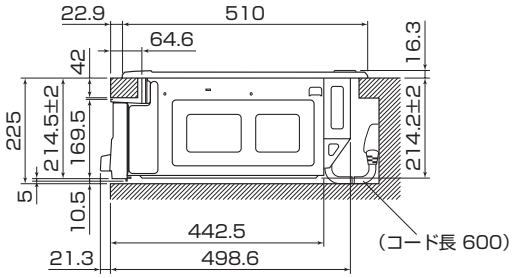


正面図

〈CS-G21MS20A〉



上面図

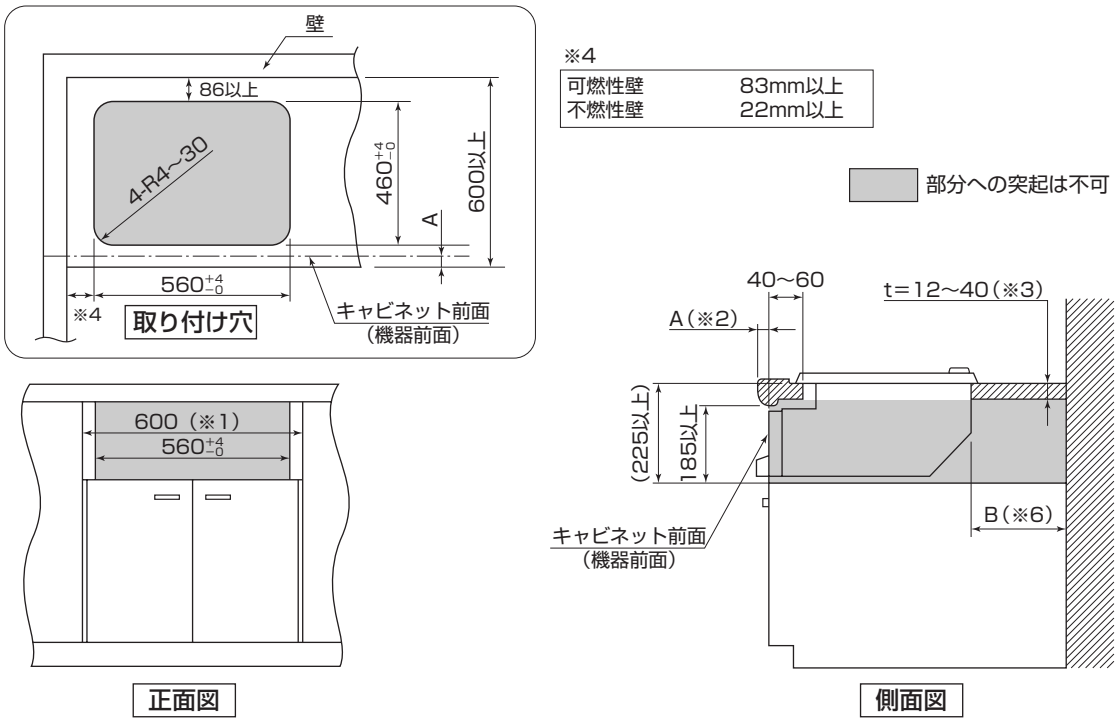


側面図

※据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。

4 システムキッチンとの関係寸法図

単位：mm



※4

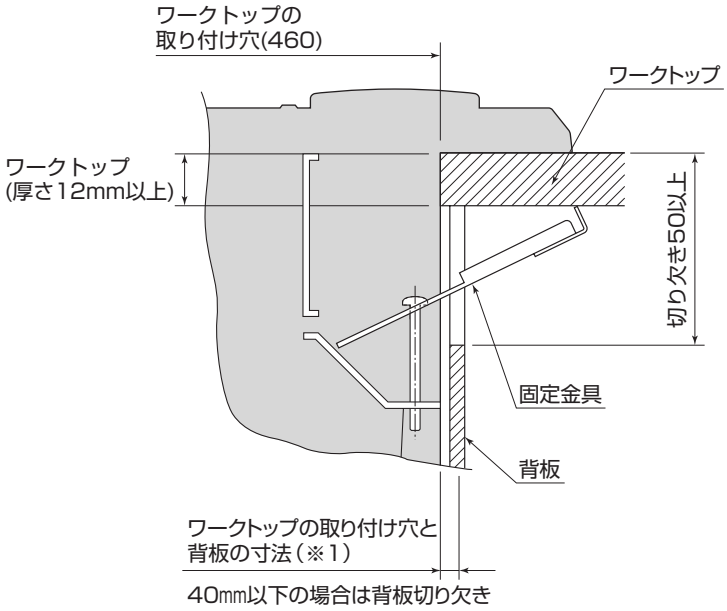
可燃性壁	83mm以上
不燃性壁	22mm以上

部分への突起は不可

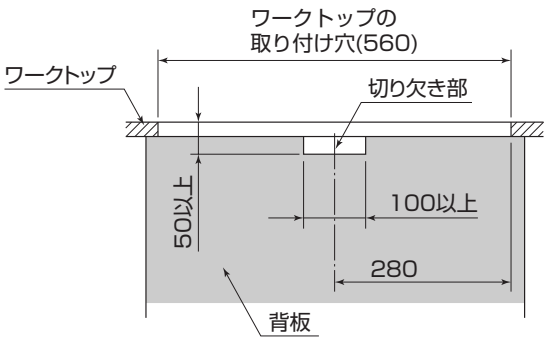
※1　据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。
※2　A寸法はワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。
※3　ワークトップの厚みが薄いと（12mm以下）、固定金具が固定できません。
　　その場合は当て木を添えてください。➡P.7 手順4参照
※4　取り付け穴と壁の距離については上記図中参照ください。
※5　本体底面孔をふさがないように225mm以上の高さが必要です。
※6　B寸法は、ワークトップ取り付け穴と背板の寸法で80mm以上あればパナソニック製の
　　露出コンセント（WK36301B）が使えます。

キャビネットの後方に背板がある場合

■ワークトップの取り付け穴と背板の寸法（※1）が40mm以下の場合は、固定金具が通るように背板に切り欠きを設けてください



【正面断面図】



5 電気工事　必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路と漏電しゃ断器の設置

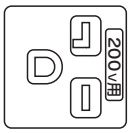
	200V・30A 機種	200V・20A 機種（CS-G21MS20A）
専　用　回　路	ブレーカー付き 単相200V・30A以上	ブレーカー付き 単相200V・20A以上
屋内配線用電線	線径φ2.6mm以上	線径φ2.0mm以上
漏 電 遮 断 器	【推奨漏電遮断器】 定格電流　30A 感度電流　15mA パナソニック製:BJS3022N（HBモジュール） BSHE23022（コンパクトタイプ）	【推奨漏電遮断器】 定格電流　20A 感度電流　15mA パナソニック製:BJS2022N（HBモジュール） BSHE22022（コンパクトタイプ）

●電源は必ず「単相3線式 200V」を使用する。
●三相200V（動力電源）には絶対に接続しないでください。（故障の原因）

コンセントの設置

単位:mm

■電源コンセント

200V・30A 機種	200V・20A 機種（CS-G21MS20A）
単相250V・30A（一極接地用） ※推奨コンセント パナソニック製：WK36301B（露出型） WK3630（露出型） WK3630B（埋込型） コンセント差し込み形状 接地2P30A	単相250V・20A（一極接地用） ※推奨コンセント パナソニック製：WKS294（露出型） WN1932（埋込型） コンセント差し込み形状 

●電源コードの直付けは絶対にしないでください。
※直付けは製品の改造となり、故障や損傷の場合、保証期間内でも有料修理になります。

■推奨コンセントの位置

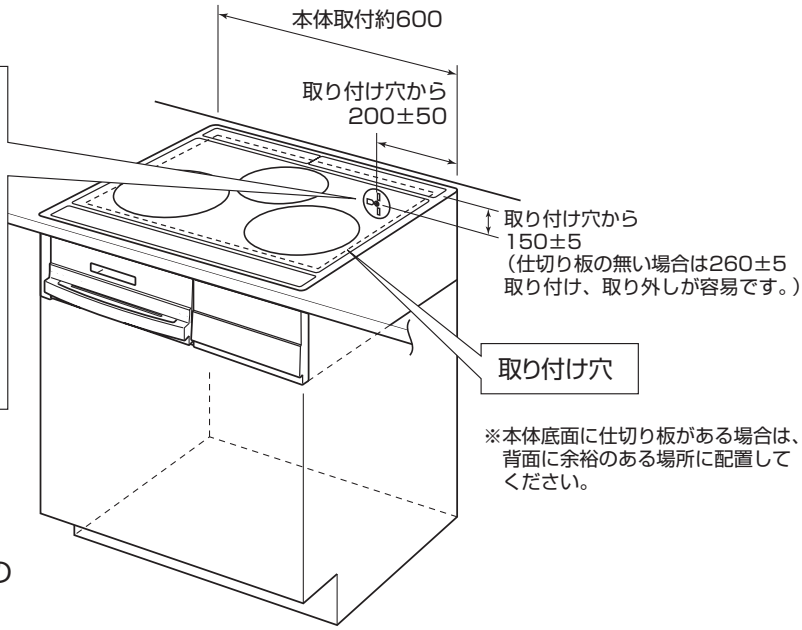
システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

【コンセントの向き】

（200V･30A 機種）　（200V･20A 機種）

※コンセントの向きに注意してください。
コードがキャビネットにあたります。



※システムキッチンに設置する場合

システムキッチンに設置する場合は、システムキッチンに添付の取付・設置説明書に従い、十分な取付強度を確認の上、コンセントを取り付けてください。

⚠警告

アース線接続

D種接地工事を必ず行ってください。

コンセントの一極接地用に配線してください。

6 据付する

据付前の準備

■包装材料を取り外し、同梱品を確認する

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。
●グリル受け皿内・グリルあみの包装材を取り除いてください。
※チェック欄は同梱品確認用としてご利用ください。
（例☑）

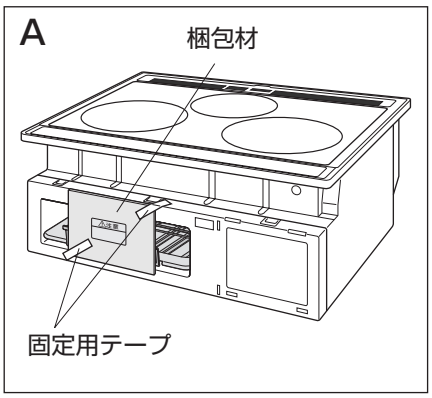
□ 上ルーバー	□ 左サイドカバー	□ 右サイドカバー
1個	1個	1個
□ グリル扉	□ グリル受け皿	□ グリルあみ
1個	1個	1枚
□ 吸・排気カバー	□ 専用天ぷらなべ	
1セット（2個）	1個	

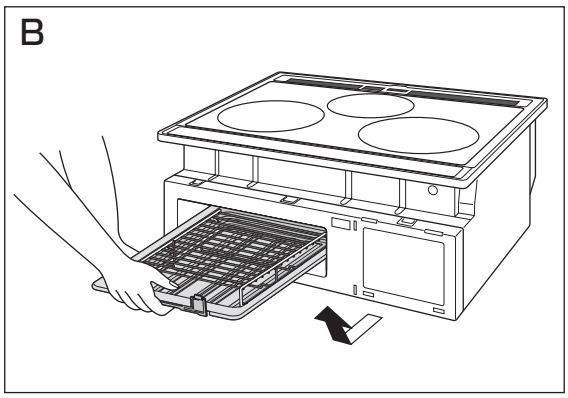
■グリル前面の梱包材を取り除く。（A図）

●固定用テープをはがす。
●梱包材を引き出す。

■グリル受け皿・グリルあみを取り外す（B図）

●グリル受け皿を持って引き出し、グリルあみを支えながら斜め上方に引き上げる。





⚠注意

据付前にグリル受け皿とグリルあみをグリル庫内から必ず取り外す

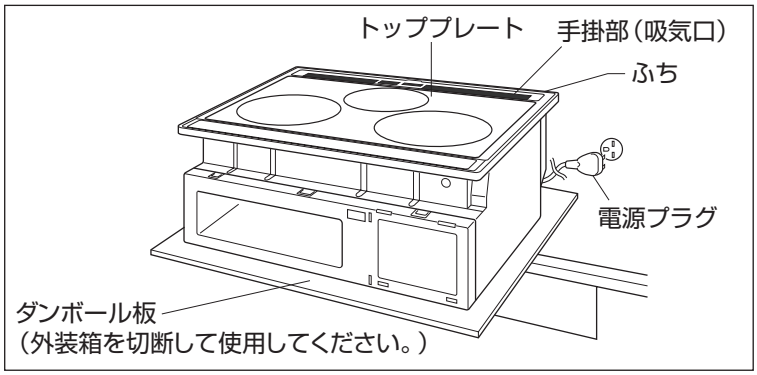
据付時、グリル受け皿とグリルあみの落下によりけがの原因

本体の据付　（ブレーカーを“切”にして据付を行ってください。）

1 電源プラグを差し込む

●本体はトッププレートのふちや手掛部を持ち取り扱ってください。
●ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。

※トッププレートは外さないで設置してください。



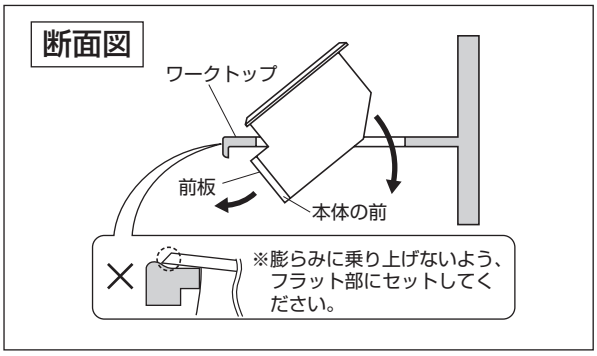
2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

●はめ込み時は、前面部をワークトップに当てないでください。

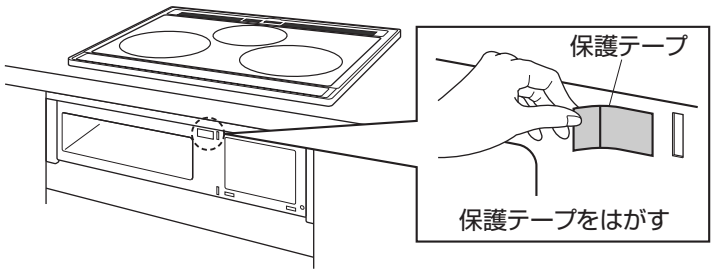
●本体の前面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。

（本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間が生じます。）

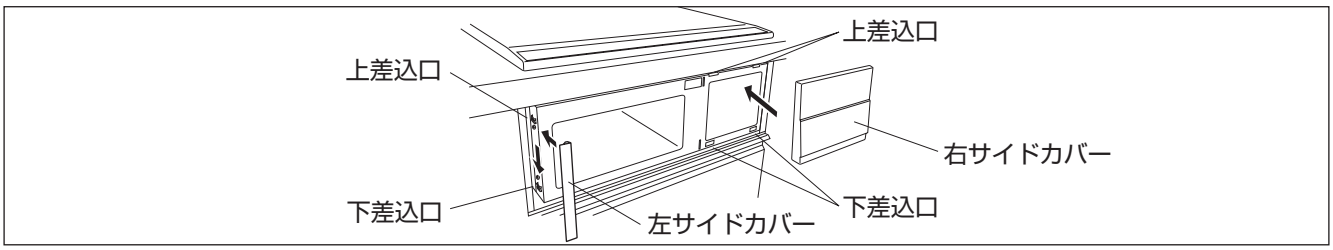
※トッププレートは外さないで設置してください。



●キッチン据付後保護テープをはがしてください。



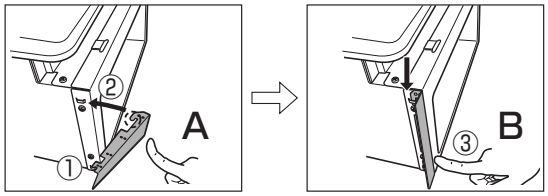
3 左・右サイドカバー、上ルーバーを取り付け、本体の位置を調整する

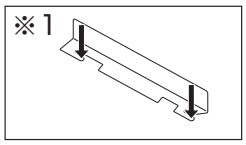


（1）左サイドカバー取り付け方

① 下爪を下差込口に引っ掛ける
② A部を押し左サイドカバーを起こす
③ B部を押し左サイドカバーを落とし込む

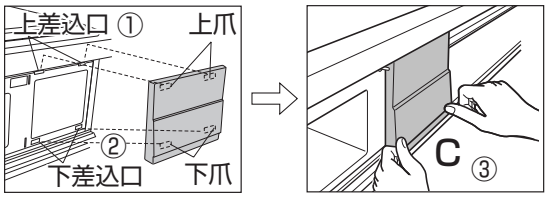
※詳細は、別紙取り付け要領図をご覧ください。
※1 入れづらい時は矢印方向に少し爪を曲げると入れやすくなりますので調整をして下さい。





（2）右サイドカバー取り付け方

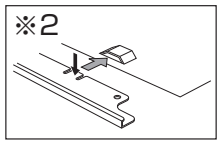
① 上差込口に上爪を引っ掛ける
② 下爪を下差込口に引っ掛ける
③ 右サイドカバーの前面C部を音がするまで確実に押し込む

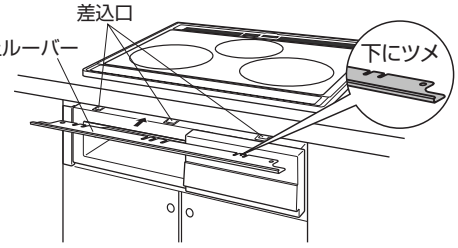


（3）上ルーバー取り付け方

グリル枠上の差込口に上ルーバーを取り付ける。

※2 上ルーバーをセットして、確実に固定されていることを確認してください。ゆるいときはツメを下方に少し曲げるだけで、固くなりますので調整してください。



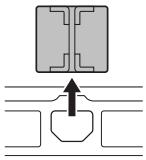


（4）本体の位置調整

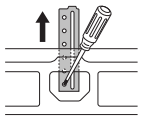
① 左右サイドカバーとキャビネットの左右側面とのすきまが均一になるように、本体の位置を調整する。
② キャビネットの前面（扉面）に本体の上ルーバー面が合うように本体の位置を調整する。

4 固定金具でワークトップに本体を固定する。

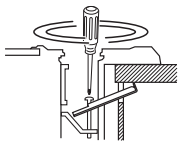
1.吸・排気カバー受けを取り外す



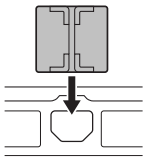
2.固定金具のネジをいったんゆるめ、ドライバーの先端を固定金具の穴に差し込み矢印方向へ通す

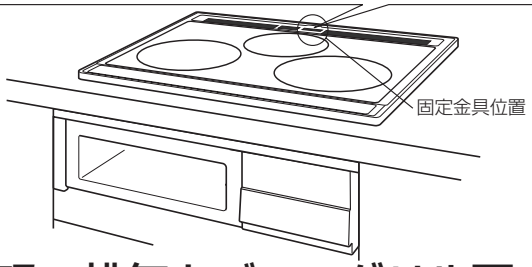


3.ネジを確実に締めつけ固定する（締めつけトルクは0.4Nmとする）

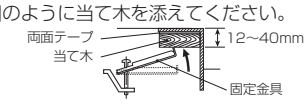


4.吸・排気カバー受けを取り付ける





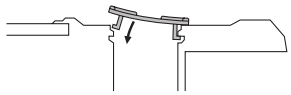
ワークトップの厚みが薄くて、固定金具が固定できない場合は、図のように当て木を添えてください。



※フレーム天面から吸・排気カバー受けが飛びだしていないことを確認する

吸・排気カバー受け取付け

最初に後ろ側を引掛け円弧運動を行ない取り付ける。

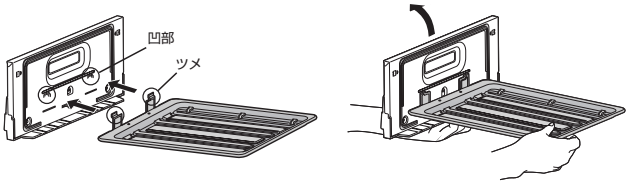


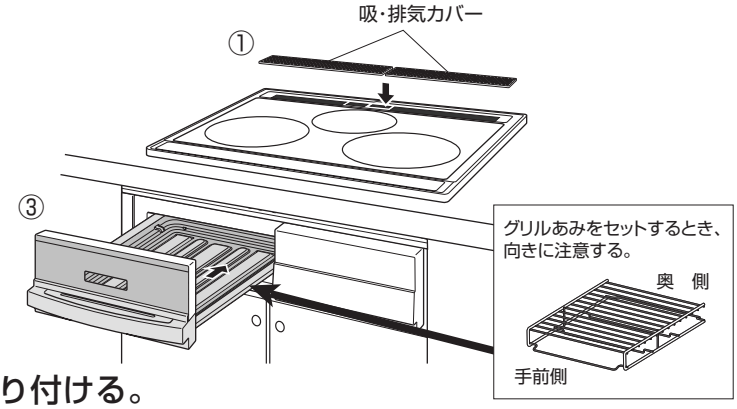
5 吸・排気カバー、グリル扉（グリル受け皿）、グリルあみの取り付け

①吸・排気カバーを取り付ける。
②グリル扉とグリル受け皿を取り付ける。

①扉の凹部（2ヵ所）を受け皿のツメ（2ヵ所）に差し込む

②扉を、矢印の方向にカチッと音がするまで動かす





③グリル扉（グリル受け皿）、グリルあみを取り付ける。

●グリル受け皿の左右を庫内の底部に添わせ、斜め上からはめ込んでください。

7 別売部品について

■据付高さによりキャビネットとの間に隙間ができる場合に必要です。

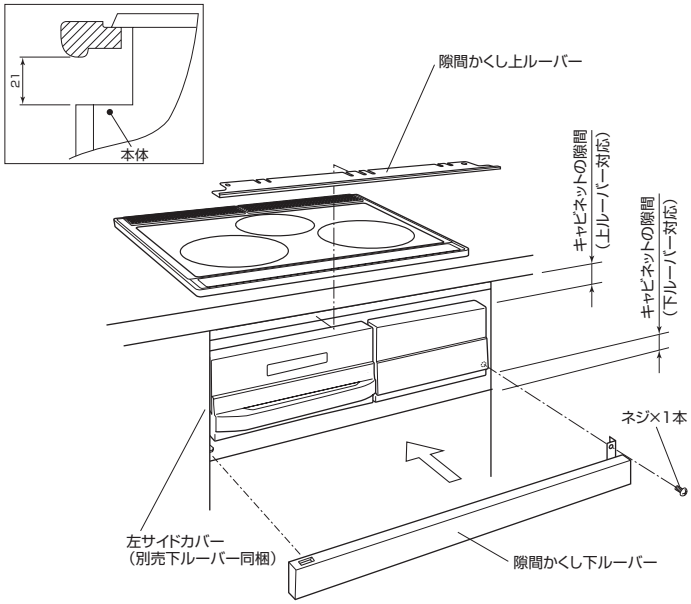
隙間かくし上ルーバー

品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ （キャビネットの隙間）
CS-ZTM10	シルバー	43×598×16mm（21mm）

隙間かくし下ルーバー

品名	色	製品寸法 奥行×幅×高さ （キャビネットの隙間）
CS-ZUM9	シルバー	25×597×5mm（9mm）
CS-ZUM25	シルバー	25×597×20.5mm（25mm）
CS-ZUM50	シルバー	25×597×45.5mm（50mm）

本製品を購入された販売店へお問い合わせください。



※詳細は各別売部品添付の取付要領図をご覧ください。

8 据付後の確認

■据付完了後、次の手順で内容を確認し、チェック欄に○印をしてください。

確　認　項　目		チェック
梱包材の取り外し	トッププレート上、グリル内部等	
同梱品などの取り付け	吸・排気カバー、グリル受け皿、グリルあみ、上ルーバー、左サイドカバー、右サイドカバー、グリル扉	
付属品、書類など	専用天ぷらなべ、取扱説明書、据付説明書、保証書は必ずお客さまにお渡しください。	
外　観	トッププレート部のフレームに浮きがないか？	
	本体前面に傷が付いていないか？	
電　気　工　事	アース（D種接地工事）が行われているか？	
	漏電ブレーカーが設置されているか？	

確　認　試　験	1電源電圧が単相200Vであること を必ず確認する。 2ブレーカーを「入」にする。		—	
	3電源スイッチを「入」にする。	➡	●電源ランプが点灯する。	
	4各ヒーターの動作確認をする。 ■左右IHヒーター（お湯を沸かして確認） ①IHヒーターの上に、水を入れたなべを置く	➡	・専用天ぷらなべを使い動作確認を行ったときは必ず よくふいてください。 ・専用天ぷらなべに水をいれて揚げ物動作をしないで ください（エラー：U4がでます）。	
	② IH切/入 または IH切/入 を押す		②トッププレートの IH 切／入ランプが点灯する。 （CS-KG30MSRはレンジフードの運転がはじまる）	
	③ ▶ を押す		③火力ランプが点灯し、なべが加熱されお湯が沸く。	
	※なべを置かないで操作をすると、「なべなし自動停止機能」が働き、火力ランプが点滅します。（約1分後に自動的に通電が切れる）			
	■中央ヒーター（CS-G21MS20Aを除く） 上面操作ボタン（キー）で ① 中央ヒーター切/入 を1回押す。② ▶ を1回押す。	➡	①トッププレートの切／入ランプが点灯する。 ②トッププレートの火力表示ランプが点灯する。 ●約20秒後にトッププレートの中央ヒーター部が赤熱する。 ※火力を「3」（最大）にすると3秒間赤熱する。	
	■グリル（グリル扉を閉じた状態で） 上面操作ボタン（キー）で ① グリル切/入 を1回押す。② 手動 を1回押す。	➡	①トッププレートの切／入ランプが点灯する。 ②グリル火力「2」までのランプと 「 グリル切/入 グリル」が点灯する。 ●約1分後にグリル庫内が熱くなる。	
	■ピークカット（CS-G21MS20Aのみ） 総消費電力を4000W、3200Wに 切り替えることができます。 ①ピークカットボタンを長押しする。	➡	①表示部に 40 が点滅 3秒後に 32 が点灯する。	
	※確認後は再度ピークカットボタンを押し、表示部を 40 に戻してください。			

※連動システム対応型レンジフードを設置した場合は、レンジフードと連動することを確認してください。

確認試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

【総消費電力の切り替えについて】※CS-G21MS20Aは、確認試験■ピークカットを参照ください。

本製品は、総消費電力を5800W（工場出荷時の設定）・4800Wの2段階に切り替えることができます。
アンペアブレーカーの容量不足の場合などで、ご使用上不便があるときに選べます。

●切り替え方法　※手順を間違えた場合は、必ず電源スイッチを「切」にしてから、手順1からやり直してください。

操作の方法		表示内容
1．電源スイッチを「入」にする	➡	1．電源ランプが点灯する。
2．左右IHの ▶ を同時に約3秒押す	➡	2．切タイマー表示部に数字が点灯します。
3． を約3秒押す	➡	3．切タイマー表示部に 58 が点灯する。
4． − または ＋ を押す ※約1分間操作しないと、電源スイッチを「入」にしたときの画面に戻ります。手順1からやり直してください。	➡	4．切タイマー表示部が 48 に切り替わる。
5． 切タイマー選択 を押して決定する ※決定後、約1分間経過すると表示が消えます。 ※決定しないまま約1分経過して、電源スイッチを「入」にしたときの画面に戻ってしまったときは、設定変更はされていません。手順1からやり直してください。		
6．電源スイッチを「切」にする		

据付年月日	年　　月　　日
据付店名	
	TEL

お客さまへ……おぼえのために、据付年月日、据付店名を記入されると便利です。

愛情点検

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295　埼玉県深谷市小前田1728－1

ZT790Z774H09J